

京都

KYOTO

# 不思議ふしぎ?!

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

京都 検定

京都・観光文化検定試験  
京都商工会議所

## 松陰詩碑の不思議な名前

本連載もお陰様で二年目。今回は町角で見かける碑や扁額に京都の不思議を訪ねてみたいと思います。

実はこれ今年の大河ドラマ

の主役でもある吉田松陰の漢詩で、この変な名前は松陰の号なのです。松陰の号は「二十一回猛士」といいます。

京都府立図書館東南の大きな石碑をご存じですか？

猛士は猛々しい男の意で、松陰の生涯はまさに勇猛と至誠に満ちていました。では二十一回とは？

漢字が書かれています。不思議なのはこの詩の作者の署名。「二十一回藤寅手録」とあります。

松陰の幼名は杉寅之助。のち吉田家に養子に入り、吉田寅次郎と呼ばれます。この

数字は、この両方の家の名前に由来します。「杉」という字は「十と八と三」に分けられ、これらを足すと二十一。また「吉田」という字も「吉」は「十」と「口」、「田」は「十」と「口」に分けられますので、数字を足すと二十一、それに口が二つで「回」、つまり「二十一回」となります。

数字は、この両方の家の名前に由来します。「杉」という字は「十と八と三」に分けられ、これらを足すと二十一。また「吉田」という字も「吉」は「十」と「口」、「田」は「十」と「口」に分けられますので、数字を足すと二十一、それに口が二つで「回」、つまり「二十一回」となります。

数字は、この両方の家の名前に由来します。「杉」という字は「十と八と三」に分けられ、これらを足すと二十一。また「吉田」という字も「吉」は「十」と「口」、「田」は「十」と「口」に分けられますので、数字を足すと二十一、それに口が二つで「回」、つまり「二十一回」となります。

数字は、この両方の家の名前に由来します。「杉」という字は「十と八と三」に分けられ、これらを足すと二十一。また「吉田」という字も「吉」は「十」と「口」、「田」は「十」と「口」に分けられますので、数字を足すと二十一、それに口が二つで「回」、つまり「二十一回」となります。

数字は、この両方の家の名前に由来します。「杉」という字は「十と八と三」に分けられ、これらを足すと二十一。また「吉田」という字も「吉」は「十」と「口」、「田」は「十」と「口」に分けられますので、数字を足すと二十一、それに口が二つで「回」、つまり「二十一回」となります。

数字は、この両方の家の名前に由来します。「杉」という字は「十と八と三」に分けられ、これらを足すと二十一。また「吉田」という字も「吉」は「十」と「口」、「田」は「十」と「口」に分けられますので、数字を足すと二十一、それに口が二つで「回」、つまり「二十一回」となります。

「松陰詩碑」といいます。「闕」は御所。松陰が江戸から長崎への途次、嘉永六年に京都を通り御所を拝して詠んだ詩で、京都の山河は変わらないのに朝廷の権威は地に墜ちて戻らないと深く嘆いたもの。松陰の『長崎紀行』に収められています。この石碑の原文は旧作を基に、山県有朋の父・有稔の需めに応じて書かれたもので、現物は皇室に献上され御物となっています。是非京都の文化ゾーン・岡崎で、日本を牽引した偉大な教育者の息吹を感じてみてください。

(京都学園大学非常勤講師 堤 勇二)



吉田松陰拝闕詩碑 右上の建物は京都国立近代美術館



手前の石碑は尊攘堂創立50年記念に添えられた所在碑



松陰の署名「二十一回藤寅手録」